

## 第17回日本血液学会関東甲信越地方会幹事会議事録

日時：2023年7月15日(土) 15：15～16：05

会場：山梨県立図書館 第3会場（1F）イベントスペース東面および  
オンライン会議システム

出席者：（会場）中島 秀明（代表）、桐戸 敬太（副代表・第19回会長）、新井 文子、  
安藤 美樹、木村 文彦、黒川 峰夫、後藤 明彦、酒井 リカ、堺田 恵美子、  
高山 信之、瀧澤 淳、田村 秀人、千葉 滋、塚本 憲史、服部 憲路、藤澤 信、  
藤原 慎一郎、南 陽介、矢野 真吾、山口 博樹  
（オンライン）青墳 信之、石田 禎夫、石田 文宏、伊豆津 宏二、犬飼 岳史、  
白杵 憲祐、内田 直之、片岡 圭亮、加藤 元博、神田 善伸、黒田 裕行、康 勝好、  
鈴木 隆浩、塚崎 邦弘、辻村 秀樹、富田 直人、中沢 洋三、中世古 知昭、  
南谷 泰仁、野口 雅章、萩原 政夫、長谷川 雄一、八田 善弘、松田 晃、森 毅彦、  
土岐 典子（監事）

（以上幹事45名、監事1名；幹事会は成立）

欠席者：川田 浩志、熊谷 隆志、半田 寛、三谷 絹子、長谷川 大輔（監事）

陪席：大平 史織（事務支局）

議事：

1. 前回議事録確認

地方会WEBサイトに掲載済の議事録を参考資料として配布、確認した。

2. 幹事名簿確認

現在の幹事数は51名であり、第85回学術集会時任期満了の先生が5名いらっしゃるため、今後46名になることを確認した。

3. 運営委員確認

現在の運営委員は11名であり、第85回学術集会時任期満了の先生が2名いらっしゃるため、今後9名になることを確認した。

4. 第18回地方会（2023.3）開催について

黒川会長より、共催セミナー13社、プログラム抄録集広告8社、登録演題79題、参

加者が439名であった旨、収支決算の最終報告があった。

5. 第19回地方会（2023.3）開催について

桐戸会長より、共催セミナー13社、プログラム抄録集広告7社、企業展示1社、登録演題60題、参加登録者数約400名である旨、収支予算案の報告があった。

6. 第20回地方会（2024.3）開催について

矢野会長より現地開催を予定し、会期 2024 年3 月9 日（土）、会場 ステーションコンファレンス東京（JR 東京駅日本橋口直結）等の開催概要の報告があった。

7. 第21回地方会（2024.7）開催について

鈴木会長より現地開催を予定し、会期2024年7月6日（土）、会場 湯本富士屋ホテル（神奈川県足柄下郡）等の開催概要の報告があった。感染状況等により、ハイブリッド開催も検討する。

8. 第5回若手教育セミナー（2023.8）開催について

高山企画委員長より、完全対面にて東京医科大学に於いて、2023年8月26日（土）13時～17時20分開催予定であること、プログラムはケーススタディを中心に、特別企画は演者 小松則夫先生（元順天堂大学）、共催講演等を予定していること、医学部3～6年生、2年目までの初期研修医を対象に、参加者数40名を予定していること、広報はポスターを送付済だが、現時点で参加登録が出遅れており、特に来年以降に入局が内定している初期研修医の先生にお声がけ頂きたい旨、説明があった。企画委員は高山企画委員長、桐戸副代表（山梨大学）、堺田恵美子先生（千葉大学）、山口博樹先生（日本医科大学）、中島代表（アドバイザー）であり、関東甲信越での勤務を予定している地域外の先生の参加も承認された。地方会会員の先生には、後日周知メールを配信した。

9. 評議員選出における地方会推薦特別枠（女性枠）について

投影資料をもとに、幹事から2名の先生をご推薦頂き、運営委員会で採点の結果、康幹事ご推薦の荒川ゆうき先生（埼玉県立小児医療センター）を、関東甲信越地方会から推薦した旨、報告があった。

10. 新幹事補充について

幹事数の算出表と10月で幹事を定年となる5名の先生（東京都2名、茨城県1名、群

馬県1名、千葉県1名)を確認、欠員となるご所属での後任指名ではなく、後日、幹事に都県代表を通して推薦を募ることを確認した。

11. 名誉会員について

白杵憲祐先生(NTT東日本関東病院)、千葉滋先生(筑波大学)が名誉会員に推薦され、異議無く決定し、お二人からご挨拶があった。

12. 臨床研究支援について

投影資料をもとに、ワーキンググループ座長の加藤元博先生(東京大学)より、規約の承認後に募集を行い、想定を超える22件の応募があり、選考を行った旨、報告があった。選考委員は、座長の加藤元博先生、賀古真一先生(自治医科大学さいたま医療センター)、坂田麻実子先生(筑波大学)、中沢洋三先生(信州大学)、山崎悦子先生(横浜市立大学附属病院)、桐戸副代表(山梨大学・運営委員)、後藤明彦先生(東京医科大学・運営委員)で、当初予定していた応募者全員へのヒアリングが難しくなり、選考委員会で合議での採点審査を実施し、若手の先生の応募意欲を削がないよう、今年度は6件(支援金総額400万円内訳:1位200万円、2位~4位50万円、5位30万円、6位20万円)を採択する旨、報告があった。継続申請(上限金額200万円、上限3年)については、減額も検討する。後日、運営委員会メール審議にて、合否通知内容や規約の修正等を検討した。

以上